

耐火物技術協会
硫黄分析装置校正用標準物質
 JRRM 1101～1106(硫黄分析用標準物質系列第1種)
分析成績書

単位:mass%

JRRM	1101	1102	1103	1104	1105	1106
化学成分	硫黄					
化学記号	S					
認証値	0.106	0.293	1.02	1.48	2.89	4.93
分析所 L ₁	0.100 5	0.267 0	1.010	1.442	2.857	4.882
L ₂	0.101 5	0.280 0	1.024	1.450	2.832	4.844
L ₃	0.107 0	0.307 5	1.024	1.473	2.868	4.926
L ₄	0.107 5	0.308 0	1.038	1.515	2.882	4.924
L ₅	0.105 5	0.288 0	1.026	1.498	2.906	4.908
L ₆	0.112 5	0.286 5	1.039	1.502	2.909	4.986
L ₇	0.099 5	0.283 5	0.987	1.461	2.888	4.974
L ₈	0.113 5	0.321 0	1.043	1.540	2.955	5.010
平均値 (\bar{X})	0.105 94	0.292 69	1.023 8	1.485 1	2.887 1	4.931 8
標準偏差 (室間) $s_{\bar{X}}$	0.005 27	0.017 81	0.018 4	0.034 1	0.037 4	0.055 5
(室内) $s_{(n)}$ ¹	0.003 99	0.009 47	0.014 3	0.022 7	0.022 6	0.037 8
信頼区間(95%)* ²	0.005	0.015	0.02	0.03	0.03	0.05

(注)^{*1} $s_{I(T)}$: 時間が異なる中間標準偏差 ^{*2} 信頼区間 (95%): $t_{L-1,0.05} \times s_{\bar{X}} / \sqrt{L}$ (L: 分析所数)

(備考)

- (1) 分析所(順不同): 黒崎播磨株式会社, JFE炉材株式会社, AGCセラミックス株式会社, 品川白煉瓦株式会社, 株式会社TYK, コバレントマテリアル株式会社, 株式会社中研コンサルタント, 株式会社太平洋コンサルタント
- (2) 分析方法は, JIS R 2016-1(耐火物製品及び耐火物原料中の硫黄の定量方法: 重量法及び滴定法)による.
- (3) 各分析値は, 日を変えた2回の繰り返し分析の平均値を示す.
- (4) 各平均値は, 統計的に外れ値の検定(Grubbs test)を行った後, 技術的な検討により採否を決定した.
- (5) 試料調製年月: 2008年4月